

私は四季の中でも「秋」が一番好きです。暑くもなく寒くもなく、陽差しがやさしくて、スコンと突き抜けるような青空...そして何より紅葉していく木々の美しさには毎年毎年感動してしまいます。先日、友人と共に秋の公園ピクニックに行きましたが、秋の美しさに何度も感嘆しうっとりさせられました。色付く葉、ぱはもちろんきれいなのですが、地面に落ちた枯れ葉もそれはそれは風情があり、シャクシャクと音を立てながら踏みしめると耳にも楽しいのでありました。まさに雲ひとつない青空に、黄色や赤の葉、ぱのコントラストの見事なこと...! その下で、ヨタヨタ、トットコ歩いたり走ったりする小さな子どもたちとお母さん、という図は平和そのものであり、心が隠やかになる気がしました。大きな木の下で、しばしゴロリと2人で寝そべってみました。青空バックにゆらゆらと揺れる黄色の大きな葉、ぱ、キラキラキラと葉、ぱの間から漏れる太陽の光、時々ハラリハラリと落ちてくる枯葉、クルクルと回りながら落ちてくる種のようなものがついた片、千千千千、ピー千千...聞こえてくる鳥たちのさえずり。ただ、大きな木の様子をじっと見ているだけで人の一生のようなものを見ているような、神様につながって生きる人生を見たような、そんな気持ちになったと同時に、神様の創造物の素晴らしさと完璧さに圧倒されるような思いを味わいました。人間はどうがんばってもこの木の葉1枚ですえ創ることはできないし命を創ることはできない、命は全て神様の御手の中にあるのだなあ...と思われました。そして何よりただただ木や空や鳥たちを眺めているだけで、こんなにも心がいやされて幸せな気持ちになれる、というのはものすごいことだな!!とつくづく感じるのでした。私たちは何て美しく豊かな世界に生かされているのだろうか、と思います。東京の片田舎ですらそう思うのですから、世界のあちこちの大自然の綺麗な風景など見たら、言葉もでないでしょうね。皆さんもどうぞほんの数分でも「しばふでひとやすみ」、おすすめですよ! ロバ子

まきばでひとやすみ

